

生理のこんな悩み



歩いたり座ったりする動きで、ナプキンと肌がこすれて、多くの女性が生理中にデリケートゾーンに不快感を感じています。



トライボロジー に基づく工学研究により

(摩擦・摩耗・潤滑のメカニズムを解明する学問)

わたしたちは

肌のこすれ（摩擦）を軽減し、女性の QOL 向上に寄与する
生理用ナプキンの開発に貢献しました

東北大学大学院工学研究科

山口・西研究室

ファインメカニクス専攻



YAMAGUCHI & NISHI Lab.
Tohoku University



研究ページ



研究室WEB



山口 健 教授



西 駿明 准教授

吸収体の内部が動くことで**肌のこすれを軽減**できる「**スライドフィット吸収体**（吸収材と外装材を非接着とし、すべりを許容する低摩擦界面構造）」を搭載した生理用ナプキンの開発に貢献。生理期間中の肌のこすれを軽減するだけでなく、肌とナプキンに隙間が発生しづらくなることで、**モレにも安心**して使えるナプキンを提供することが可能。

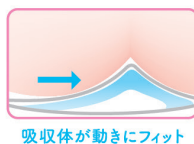
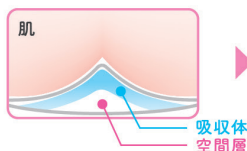
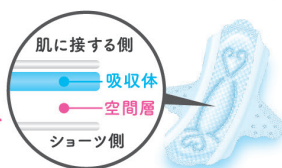
動きについてくるスライドフィット吸収体を搭載

独自開発の中空構造ナプキン

ナプキン内部に空間層を持つから吸収体が自在にスライド

吸収体が動きに合わせてフィット

いつでも快適ポジションをキープ
肌にやさしく、モレにも安心



..... こんな場面でも快適・安心

